

サ復側文書为 一四〇〇号 C-18

米國外事局は日本一部 五三一七二年 第二卷ヨリ抜草  
カ五五六頁一五七頁

一九四一年八月十七日 に、ソ連にて大飯領事

日本外使(代)ニ手交セラレタリ。口上書。

合衆國政府は日本兩國間、友好的且相互ニ利益ニ關係有、其事も  
基礎力供与セズ。キテトは日本國政府ニ従事者ニシテ、布革ニ付し  
之が大同博ヲ有ス。斯くノ解ノハニ得ニキ基礎、見事ナリ。トニ  
本政府(並耐、最前)萬年同盟ニ署(日向)一再ナヌ立強セラル  
本政府、多事ニ助ヒテ本政府ニ到達ニシテ據及指示ニ體ミ現在、  
事態下ニ於テ本政府ニ於テ完全ナル直ナラズニ非レバ、則  
期、自給主觀ヲ促進シ能キ事ト想ヘ。

事務在、既半ナリテ本政府、今より日本政府ニ對シ若シ日本國政府が  
隣接諸國ニ武力若ク、武力の威嚇ニ依シ軍事的支那、改東又、  
計画遂行、為更ニ可、事ナ、機量ヲ執事ガテ、合衆國政府  
時子孫サヌ合衆國及合衆國國民、合法的大権利及利益防  
衛ノ為、及合衆國、支那保障ヲ確保、為同政府、力必要ト  
思ヒニ一切、機量ヲ備ニラム、人手、機十数、一キロ、以テ不、内要  
ナリト思矣。